

平成27年度 全国学力・学習状況調査結果をうけて

1 生徒の学力状況の概観

今年度の本校の学力・学習状況調査では、国語 A、国語 B が全国平均を上回り、数学 A、数学 B として理科で全国平均を下回った。特に国語 B においては、全国平均を大きく上回る結果であった。この結果を受けて国語科における学力のさらなる向上と、数学科、理科での個に応じた指導の充実、そして習熟度別授業の工夫を図るなど、今後も生徒一人一人が学力を向上させられる環境・授業づくりを行わなければならない。

2 各科目の分析結果と課題及び改善の方策

国語 A 主として「知識」に関する問題

〈分析結果と課題〉

- 「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において全国平均を上回る結果となっている。特に、表現の技法について理解したり、手紙の書き方を理解して書くことができる。
- ▲「話すこと・聞くこと」の領域に課題が見られる。特に、聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話したり、必要に応じて質問しながら聞き取ることができていない。

国語 B 主として「活用」に関する問題

〈分析結果と課題〉

- すべての領域において全国平均を上回る結果となっている。特に、複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことができる。
- ▲課題を挙げるとすれば、目的に応じて文章を要約することができていない。

〈改善の方策〉

- ・スピーチや発表の機会を意図的に設け、ただ発表させるだけでなく、聞き手にとって分かりやすい内容に推敲する活動を取り入れる。
- ・「話す聞く」活動の中に、互いにインタビューし合う活動の充実を図る。
- ・文章を要約したり、文章の要旨をまとめたりする活動の充実を図る。

数学 A 主として「知識」に関する問題

〈分析結果と課題〉

- 「図形」の領域では全国平均を上回る結果となった。特に、空間における直線と平面の垂直について理解している。
- ▲「数と式」「資料の活用」に課題がある。特に、文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解したり、与えられた資料から中央値を求めることができていない。

数学B 主として「活用」に関する問題

〈分析結果と課題〉

- 「図形」の領域では数学Aと同じく全国平均を上回る結果となった。特に、平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることができる。
- ▲「関数」「資料の活用」の領域に課題が見られる。特に、与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明したり、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができていない。

〈改善の方策〉

- ・今後も継続して、プリント学習・小テストなどにより既習事項の学び直しの充実を図る。
- ・自分の考えを言葉や文章で表現すること自体、苦手な生徒が多いので、日常的に自分の考えなどをまとめ、説明しなければならない場面を増やしていく。
- ・身近な例を多く提示することにより、数量の関係や関数を普段の生活に近いものとして感じさせ、意欲的に課題に取り組ませる。

理科

〈分析結果と課題〉

- 「知識」「活用」という枠組みで見ると全国平均を上回る項目はないが、「地学的領域」においては全国平均を上回った。特に、一定の時間に多くの雨が降る原因を探る実験を計画することができる。
- ▲「科学的領域」において課題がある。特に、特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めたり、グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取ることができない。

〈改善の方策〉

- ・論理的に考察して書くなど、実験・観察時の個人レポートの充実を図る。
- ・既習事項の学び直しを取り入れた学習（小テストや単元テストなど）の充実を図る。

3 生徒質問紙の分析結果と課題及び改善の方策

生活習慣

〈分析結果と課題〉

- ・「毎日同じくらいの時刻に寝る」「毎日同じくらいの時刻に起きる」の項目で全国よりも数値が低かった。「1日の携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネット（ゲームを除く）をする時間（1時間未満～2時間未満）」の数値が高く、日常の生活の中で安定した生活習慣を送れるよう改善が必要である。

学習習慣

〈分析結果と課題〉

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で、学校の授業の復習をしている」では非常に高い数値を示した。「家で、学校の授業の予習をしている」では数値が低く、予習・復習のバランスがとれていない現状が伺える。

自尊意識・規範意識

〈分析結果と課題〉

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」では高い数値を示した。「自分にはよいところがあると思う」ではやや低い数値が示され、自己肯定感が低い傾向にある。

〈改善の方策〉

- ・早寝早起きの習慣の確立と、メールや SNS の利用を含むスマートフォンの使い方についてルールを設けることなど、家庭と連携を取りながら着実に進めていく。
- ・予習と復習のバランスを考えた家庭学習の習慣化を促す。
- ・「学校」「家庭」「地域」がしっかりと連携をとりながら、子どもたちの成長をしっかりと見守り、子どもたちの成長を認め、さらに成長するための明確な目標を持たせていく。